オートバイ用GPSレーダー探知機

# VZ-6000

# 取扱説明書

**適 合**

1. ヘルメットのイヤーホール部（耳部）に右記のスペースがあること
2. 車両から充電する場合はDC12V車で電源が安定している事。

この度は「VZ-6000 オートバイ用GPSレーダー探知機」をご購入いただき誠にありがとうございます。
この取扱説明書は製品を正しく安全にご使用いただく為に取付及び操作手順が説明されております。
正しくご使用いただく為に本書をよくお読みいただき、安全にご使用ください。また、この取扱説明書は常にお手元に保管くださいますようお願い申し上げます。

## 目　次


**1.ご使用上の注意**…… 1
**2.梱包内容**…… 1
**3.各部の名称**（レーダー本体・レシーバー）… 2
**4.ご使用にあたって**…… 2
1 充電方法…… 2
1）ローバッテリーサイン…… 2
2）AC100V用充電器をご使用の場合…… 2
3）DC12V用充電コードをご使用の場合…… 2
●バッテリー直接接続
●車両の従来コードへ途中接続する場合
4）ヒューズ変換…… 2
2 外部出力について…… 2
3 GPS機能について…… 2
**5.取付方法**…… 3～4
1 レーダー本体…… 3～4
1）ミラーへの取り付け…… 3
2）カウルへの取り付け…… 3
3）ガソリンタンクへの取り付け（カウルステー利用の場合）…… 3
4）ガソリンタンクへの取り付け（直付けの場合）…… 3
5）ポケットに入れてご使用の場合…… 4
6）タンクバッグに入れてご使用の場合…… 4
2 レシーバー…… 4
1）レシーバーの取り付け…… 4
**6.操作方法**…… 4～5
1 レーダー本体…… 4～5
1）オートパワーオフ機能とは…… 4
2）オートパワーオフ機能を使用する場合…… 4
3）オートパワーオフ機能を使用しない場合…… 4
2 レシーバー…… 5
1）レシーバーの使用方法…… 5
2）レシーバーの調整方法…… 5
**7.警告について（GPS）**…… 5
1 オービス警告…… 5
2 N／NHシステム…… 5
3 警察署案内…… 5
4 サービスエリア、パーキングエリア案内… 5
**8.警告について（レーダー）**…… 5
**9.警告について（6バンド）**…… 6
1 6バンド受信について…… 6
2 カーロケ受信…… 6
3 取締り用連絡無線…… 6
4 署轄系無線…… 6
5 デジタル無線…… 6
6 WIDE無線…… 6
7 警察活動無線…… 6
**10.その他の機能**…… 7
1 オートアラームカット機能…… 7
2 オートトーンダウン機能…… 7
3 時報機能…… 7
**11.取締りの種類と方法**…… 7
**12.製品仕様**…… 8
**13.補修パーツのご紹介**…… 8
**14.故障かなと思ったら**…… 8
**15.本品に関するご連絡・ご相談先**… 8


# 1.ご使用上の注意

ご使用の前にこの「ご使用上の注意」をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。また、注意事項には危害や損害の大きさを明確にする為に誤った取扱いにより生じることが想定される内容を「警告」「注意」ので表示しています。

| | |
|---|---|
| ⚠警告 | この表示の内容を守らないと、死亡や大ケガなどの人身事故の原因となります。 |
| ⚠注意 | この表示の内容を守らないと、ケガや車両、製品に損害を与える恐れがあります。 |

### ⚠警告

■本製品を分解、改造加工等は絶対に行わないでください。火災、感電、故障の原因となる場合があります。また、保証期間内であっても保証対象外となるばかりでなく、修理等をお断りする場合があります。
■運転者は走行中に本製品を絶対に操作しないでください。重大な交通事故の原因となります。
■本製品は運転や視界の妨げにならない場所に取り付けてください。また二輪車の機能（エアバッグやメーター等）の妨げにならない場所に取り付けて下さい。事故やケガの原因となります。
■配線はカウルやフレーム等に挟み込まれないように取り回してください。ショートや漏電等があると製品の破損、車両火災等を起こす可能性があります。
■指定の充電器以外のご使用はおやめください。製品の破損、火災等を起こす可能性があります。
■本製品が万一破損、故障した場合はすぐにご使用を中止してください。そのままご使用になると火災、感電等の可能性があります。
■本製品を医療機器の近くで使用しないでください。電波により医療機器に影響を与える恐れがあります。

### ⚠注意

■本製品の近くに他のGPS機能を持つ製品を放置しないでください。誤作動を起こす可能性があります。
■GPS衛星の電波を受信できない下記の様な場所では、本製品のGPS機能が働かないため、GPSによる警報、表示が正常に働きません。（トンネル、地下道、建物の中、ビルなどに囲まれた場所、鉄道や道路の高架下、木々の多い森の中等）
■レーダー本体は防雨設計となっておりますが、洗車機等で故意に水をかけることや雨中での長時間のご使用を避けてください。
■レーダー本体は端子キャップを閉めた状態のみ防雨効果を発揮しますので、普段は閉めてご使用ください。
■電波式の自動ドアや信号機の近くに設置されている車両通過計測器等は、取締りレーダー波と同じ電波を使用しているため、本製品のレーダー受信機能が働くことがあります。あらかじめご了承ください。（マイクロ波のドップラー式自動ドア、マイクロ波のドップラー式車両通過計測器、NTTのマイクロウェーブ通信回路の一部、気象用レーダーの一部、航空レーダーの一部、湾岸レーダーの一部、大出力の違法CB無線等）
■金属物及び金属を含んだ塗料の製品が前方や上方にある所に本製品を設置しないでください。遮へい物があるとGPS衛星やレーダー波の電波が受信できない場合があります。
■本製品は電子部品を使用した精密機器ですので、落下等の強い衝撃をあたえないでください。故障の原因となります。
■本製品を取り付けての違法行為（速度違反等）に関しては製品動作の有無に関わらず弊社では一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転に心がけてください。
■本製品を飲酒運転の取締りを回避する目的で使用しないでください。

**その他の注意**

■本製品は日本国内でのご使用に限ります。海外での使用及び輸出はできません。

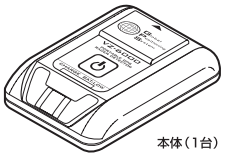
This product is limited to use only in japan. Use in foreign countries and export are not possible.

■本製品の仕様及び外観は、改良の為予告無く変更する事があります、ご了承ください。
■本製品の故障による代替品の貸出は弊社では行っておりませんので、ご了承ください。

### 保証について

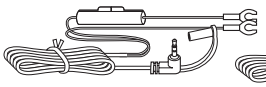
■本製品にはお買い上げの日から1年間の製品保証が付いています。（ただし内蔵電池、両面テープ等の消耗品は保証の対象になりません。）保証書（化粧箱側面）又はレシートは保証を受ける際に必要となりますので、必ずお手元に保管されるようにお願い申し上げます。（保証書を使用する場合は切りはなしてご使用ください。）
■保証は製品に対してのみとなります。着脱や検査、修理等に発生した工賃・代車費用等は保証しかねます。あらかじめご了承ください。

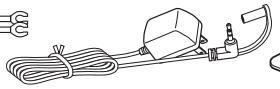
# 2.梱包内容


本体（1台）

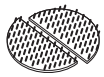
レシーバー（1個）

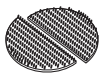
ベルクロ（1セット）


DC12V用充電コード（1個）


AC100V用充電器（1個）

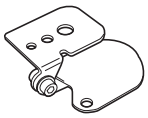
ミラーステー（1枚）
※補修パーツ名：アンテナベース


デュアルロック〈粗〉


デュアルロック〈細〉

M8ワッシャー（1個）

両面テープ（3枚）


カウルステー（1セット）

バンドタイ（5本）

コードストッパー（2個）

ワンタッチコネクター（1個）

六角レンチ（1本）

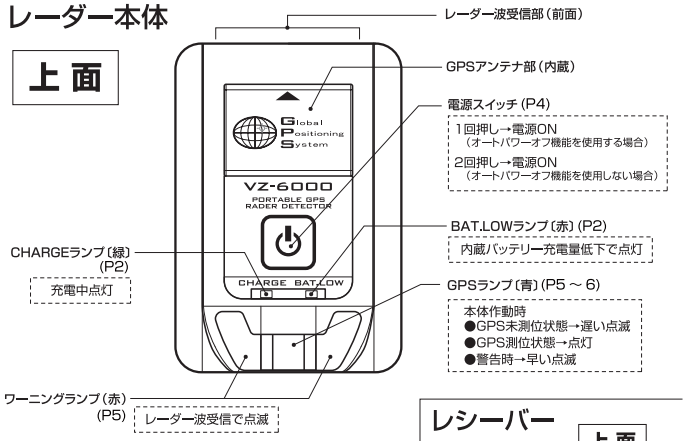
取扱説明書（1冊）

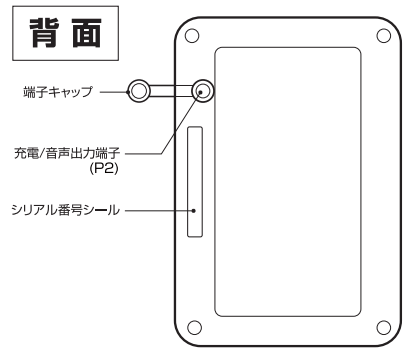
### 取付に必要な工具など

●六角レンチ（付属品）　その他車両に合わせた工具一式

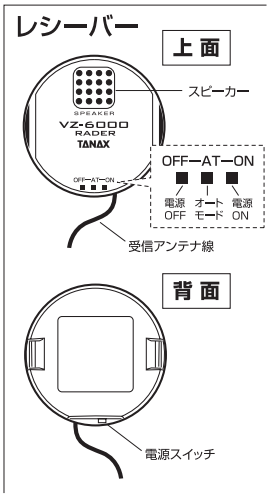
# 3.各部の名称（レーダー本体・レシーバー）

## レーダー本体




## レシーバー




# 4 ご使用にあたって

**本製品はバッテリーを内蔵しているポータブルタイプのGPSレーダー探知機です。またDC12Vを電源にする事も可能です。**

**ご使用前に必ず十分な充電を行ってください。**

本製品は商品出荷時には検査用予備充電のみされており、長時間充電しないとバッテリーが自然放電します。初めてご使用になる時は必ず付属のAC100V用充電器か、DC12V用充電コードを使用し、8時間以上かけて充電してください。

## 1 充電の方法

### 充電完了タイマー機能

本製品は約8時間で充電が終了するタイマー回路が入っており、作動させるかどうかを選択できます。

**電源スイッチを ON にして充電プラグを接続する → 8hタイマーは働きません。**（電源をOFFにするまで充電します。）

**電源スイッチを OFF にして充電プラグを接続する → 8hタイマーは働きます。**（約8時間で充電が終了します。）

**⚠注意** 車両バッテリーから充電する場合、長時間充電プラグを接続したままにすると車両のバッテリーが上がってしまう場合があります。ご注意ください。

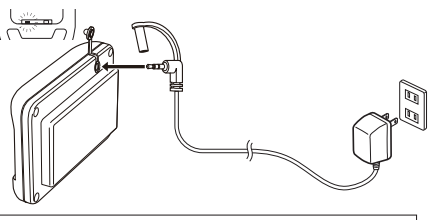
### 1）ローバッテリーサイン

内蔵バッテリーの充電量が低下した場合、2段階の表示でお知らせします。

| 内蔵バッテリー状態 | 機能・ランプ | アナウンス | |
|---|---|---|---|
| | | レーダー本体 | レシーバー |
| 充電20%以下 | BAT.LOWランプ点灯 | ——— | ——— |
| 充電10%以下 | 全受信機能を停止　全ランプ消灯 | "ピー" | "ピー" |

### 2）AC100V用充電器をご使用の場合

①電源スイッチをOFFにしてください。
②充電器をコンセントに差し込みます。
③製品本体の充電/音声出力端子にAC100V用充電器のプラグを奥まで差し込みます。
④CHARGEランプ（緑）が点灯します。
⑤約8時間後に充電が完了し、CHARGEランプ（緑）が消灯します。
⑥その後約4mAの電流が流れ、いつでも使用できる状態になります。

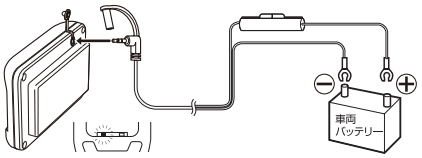


**⚠注意** 過充電を防ぐ為に必ず電源スイッチをOFFにして充電プラグを接続してください。（8hタイマーが働いた状態）

### 3）DC12V用充電コードをご使用の場合

**●バッテリー直接配線の場合**

①電源スイッチをONにしてください。
②充電端子にDC12V用充電コードプラグを差し込みます。
③CHARGEランプ（緑）が点灯します。
④充電は本体のON・OFFに連動します。
※オートパワーオフ機能が働いていますので本体のOFFと共に充電もOFFになります。（オートパワーオフ機能はOFFにできません。）
⑤電源OFFの状態でも約4mAの電流が流れ、いつでも使用できる状態になります。



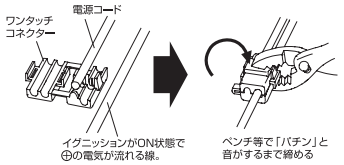

**⚠注意**
※電源スイッチをOFFにした状態で接続すると、充電電流が約8時間流れ続けて車両バッテリー上がりを起こしますのでご注意ください。
※振動の多い場所等でオートパワーオフ機能が働かない場合、バッテリーが上がる恐れがあります。その場合電源スイッチをOFFにしてください。

**●車両の従来コードへの途中結線をする場合**

①車両の配線からイグニッションがONの時に⊕の電気が流れている配線を探してください。
※安定して12Vが出ている電源をご使用ください。電気式メーター等から誤って配線すると故障の原因となります。
②充電コードのヒューズから先の⊕ライン端子を切り落とし、上記配線に付属のワンタッチコネクターにて確実に接続してください。
③充電コードの⊖ラインはボディーアースしてください。
④電源スイッチをONにしてください。
⑤製品本体のジャックにDC12V用充電コードプラグを奥まで差し込みます。
⑥CHARGEランプ（緑）が点灯し、常時充電されます。
⑦充電は車両のイグニッションのON・OFFに連動します。
⑧イグニッションONの時、電源OFFの状態でも約4mAの電流が流れます。

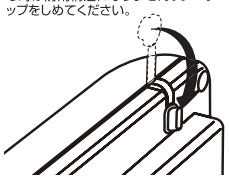
**ワンタッチコネクターの使い方**

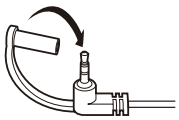
接続するコードを並べてコネクターで挟み込みます。




**雨天時には・・・**

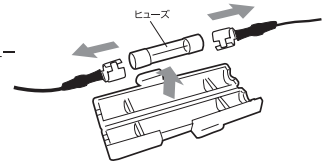
| ⚠注意 | ⚠警告 |
|---|---|
| DC12V用充電コードをレーダー本体に接続している時は防雨構造になりません。レーダー本体のキャップをしめてください。 | 浸水やショート等の恐れがありますので、本体を充電しない時は必ずキャップを閉め、タンクの下側やサイドカバーの陰、シート下など濡れにくい場所へ収納してください。 |





### 4）ヒューズの交換

白いケースを外し、端子を左右にずらしてヒューズを交換してください。




## 2 外部出力について

本製品は別売でレシーバー以外の音声出力も使用できます。この場合防雨構造になりません。

| 製品名 | 品番 | 外部スピーカーの大きさ |
|---|---|---|
| ヘルメット用スピーカーセット | MR-421 | 厚み8mm　φ43mm |

## 3 GPS機能について

**●GPSとは**

「Global Positioning System」衛生軌道上の人工衛星から発信される電波により、地上での現在位置を計測するシステムです。

**●GPS測位機能の警報システム**

衛星からの電波を受信して現在位置、移動方向、移動速度を算出し、あらかじめ登録してある各データ（座標データ等）とを比較演算し、接近すると警報を行います。

**●衛星受信開始時間/受信復帰時間**

GPSレシーバーの電源オンから衛星受信を行う迄の時間と走行中、トンネル、高架下、屋内等で一時的にGPS衛星が受信できない場所から、受信できる場所へ移動した時、再受信する迄多少時間がかかります。（高架下やトンネル等にオービスがある場合は衛星受信ができず、警報が行えない場合がありますので注意してください。）

**●GPS測定誤差について**

本製品の測位計測機能は衛星の受信状態等により、約50m程度の測定誤差が出る場合があります。

**●GPS衛星受信と車載テレビチューナー**

車載テレビ等を使用しているとGPS衛星を受信できない事があります。そのような場合、車載テレビ等のチューナー部から離しGPS衛星の受信に影響のない箇所へ本製品を取り付けてください。

# 5.取付方法

## 1 レーダー本体

### 取り付けの前に

●運転や視界の妨げにならず、車両の機能に影響の無い場所に取り付けてください。
●GPSアンテナ上方向に遮へい物があるとGPS衛星からの電波が受信できない場合があります。取り付け位置には充分注意してください。
●取り付けの際はなるべくレーダー本体が道路に対して平行に、レーダー受信部を進行方向へ向けて取り付け、前方に障害物が無いようにしてください。（プラスチック製のカウル等、電波を通すものは○金属物は×）
●付属の両面テープ、デュアルロックは接着後24時間で接着力が最大となりますので、それまで荷重をかけないようにしてください。
●貼り付け部分の汚れや油分を良く拭き取ってから作業してください。
●レーダー本体の落下防止には、市販のストラップ等をご使用ください。

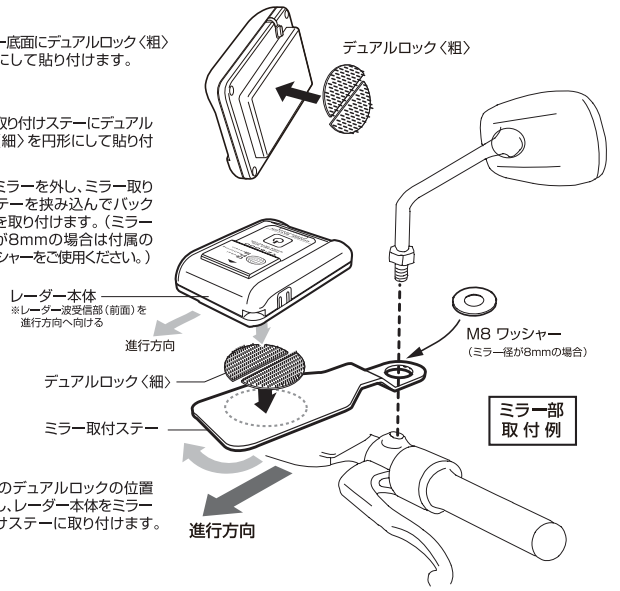
### 〇 1）ミラー部への取り付け 〇

①レーダー底面にデュアルロック〈粗〉を円形にして貼り付けます。

②ミラー取り付けステーにデュアルロック〈細〉を円形にして貼り付けます。

③バックミラーを外し、ミラー取り付けステーを挟み込んでバックミラーを取り付けます。（ミラーボルトが8mmの場合は付属のM8ワッシャーをご使用ください。）

④お互いのデュアルロックの位置を確認し、レーダー本体をミラー取り付けステーに取り付けます。




### 〇 2）カウルへの取り付け 〇

①レーダー本体底面にデュアルロック〈粗〉を円形にして貼り付けます。

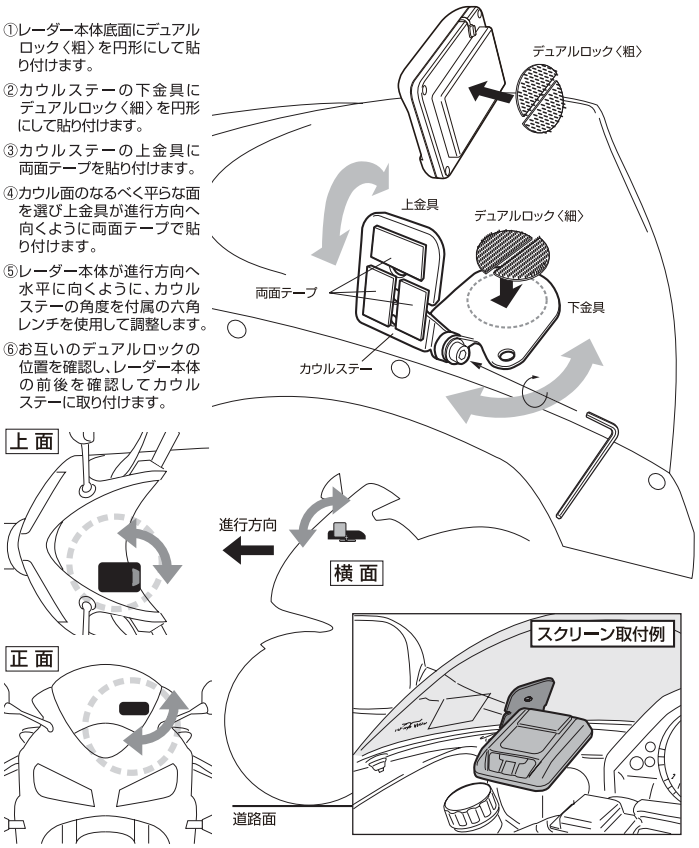
②カウルステーの下金具にデュアルロック〈細〉を円形にして貼り付けます。

③カウルステーの上金具に両面テープを貼り付けます。

④カウル面のなるべく平らな面を選び上金具が進行方向へ向くように両面テープで貼り付けます。

⑤レーダー本体が進行方向へ水平に向くように、カウルステーの角度を付属の六角レンチを使用して調整します。

⑥お互いのデュアルロックの位置を確認し、レーダー本体の前後を確認してカウルステーに取り付けます。




### 〇 3）ガソリンタンクへの取り付け（カウルステー使用の場合） 〇

①レーダー本体底面にデュアルロック〈粗〉を円形にして貼り付けます。

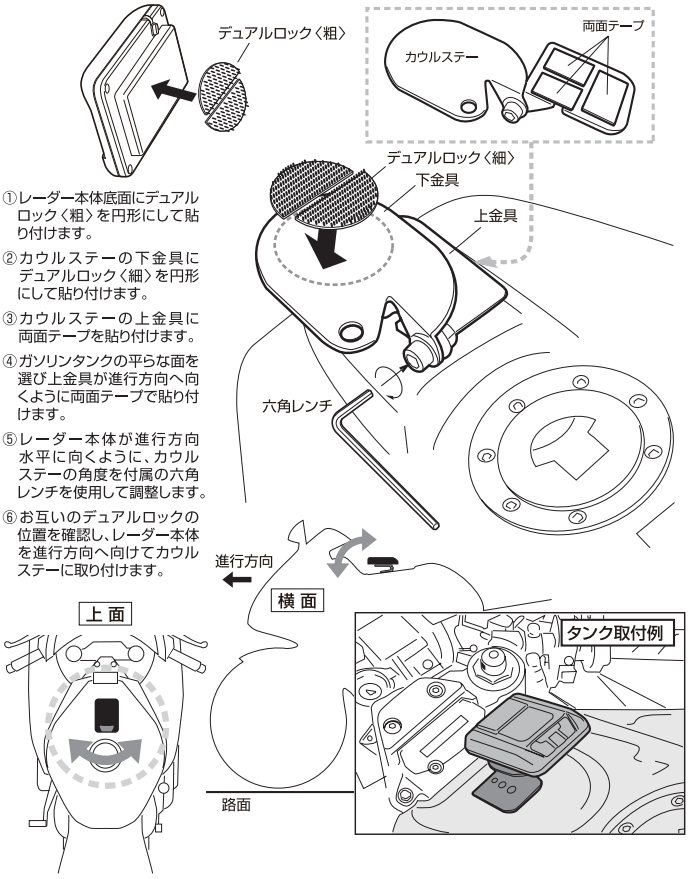
②カウルステーの下金具にデュアルロック〈細〉を円形にして貼り付けます。

③カウルステーの上金具に両面テープを貼り付けます。

④ガソリンタンクの平らな面を選び上金具が進行方向へ向くように両面テープで貼り付けます。

⑤レーダー本体が進行方向水平に向くように、カウルステーの角度を付属の六角レンチを使用して調整します。

⑥お互いのデュアルロックの位置を確認し、レーダー本体を進行方向へ向けてカウルステーに取り付けます。

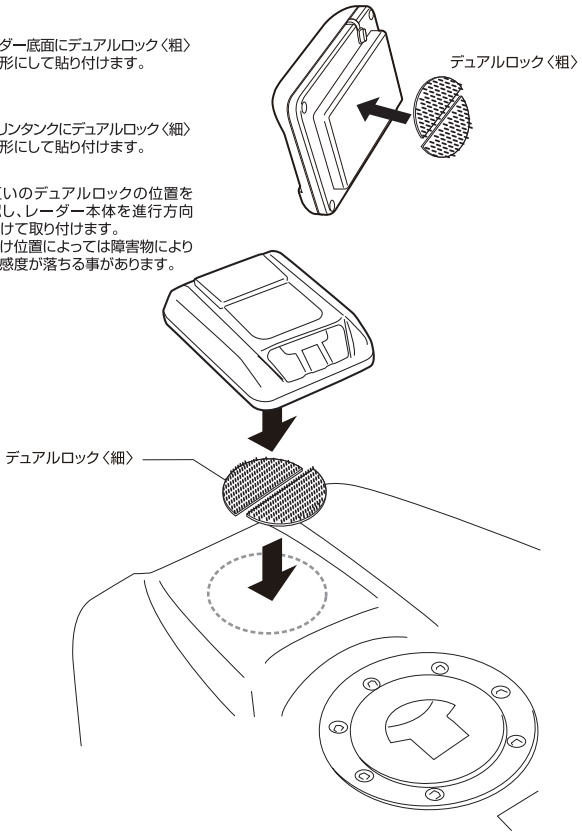



### 〇 4）ガソリンタンクへの取り付け（直付けの場合） 〇

①レーダー底面にデュアルロック〈粗〉を円形にして貼り付けます。

②ガソリンタンクにデュアルロック〈細〉を円形にして貼り付けます。

③お互いのデュアルロックの位置を確認し、レーダー本体を進行方向へ向けて取り付けます。
※取付け位置によっては障害物により受信感度が落ちる事があります。



### 5）ポケットに入れてご使用の場合

●レーダー本体を胸ポケット等に入れてご使用ください。その際にレーダー受信部をなるべく上向きに入れる事をお勧めします。
※レーダー感度は水平に取り付けた状態と比較して若干悪くなります。

※レーダー受信感度はオートバイの車種やライディングポジションによって異なります。

### 6）タンクバッグに入れてご使用の場合

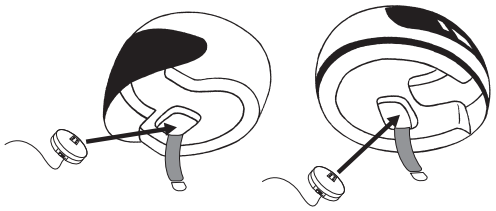
●レーダー本体をタンクバッグ（マップケース等）に入れてもご使用できます。その際には受信部を進行方向に向けて収納してください。

※レーダー受信感度はオートバイの車種やライディングポジションによって異なる事があります。
※荷物と一緒にバッグの中に入れると受信出来ない場合があります。

## 2 レシーバー

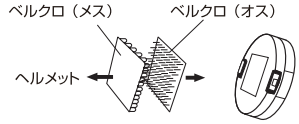
### 1）レシーバーの取り付け

①取り付けるヘルメットのイヤーホール部（耳部）に上手くレシーバーが収まるかを確認します。 ※アンテナは丸めたり、押し込んだりしないようにしてください。

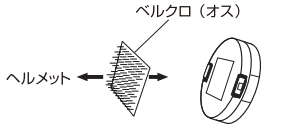


②取り付け面の状況に合わせてベルクロテープを使用して貼り付けます。出来るだけスピーカーの音が聞きやすい様にスピーカーと耳の位置を合わせてご使用ください。
※ヘルメットの内装状況によっては加工が必要になる場合があります。

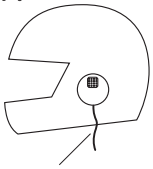
**ヘルメット側がハードな場合**




**ヘルメット側が生地の場合**




③ヘルメットをかぶって支障がない事を確認します。当たる部分は位置を調整してください。



アンテナを少し出してください。

**参考**

音が聞き取りにくい場合、耳とスピーカーの空間を少なくする事により音が聞き取りやすくなる場合があります。その場合スピーカーフィッティングスペーサー（MR-E6:別売）を使用してください。

# 6.操作方法

## 1 レーダー本体

### 1）オートパワーオフ機能とは

車両振動を検知して、エンジン停止で振動の無い状態が続くと約5分後に自動的に電源がOFFになります。ただし、エンジン始動や振動を検知した場合でも自動的に電源はONにはなりません。

| | |
|---|---|
| オートパワーオフ機能を使用する場合 | 電源スイッチを1回押す |
| オートパワーオフ機能を使用しない場合 | 電源スイッチを2回続けて押す（ダブルクリック） |

**⚠注意**

※振動や騒音の激しい場所に駐停車している場合は、本製品が振動を検知して電源OFFにならない場合があります。その場合は電源スイッチで電源をお切りください。
※車種によっては、走行中でも低速走行や停車中に振動検知が行えずオートパワーオフ機能が働く場合があります。その場合は、再度電源をONにするかオートパワーオフ機能を使用しないでください。

### 2）オートパワーオフ機能を使用する場合

①電源スイッチを1回押します。
②GPSランプが点滅し始めレーダー本体とレシーバーから音が鳴ります。
③GPS衛星を受信するとGPSランプが点灯し、レシーバーから「GPSを測位しました。○月○日○曜日です。」と音が鳴ります。
④電源スイッチをもう一回押すと「ピピピピッ」と音が鳴り電源が切れGPSランプが消灯します。

| 操　作 | GPSランプ | 音　声 | |
|---|---|---|---|
| | | レーダー本体 | レシーバー |
| 電源スイッチを1回押す | 遅い点滅 【GPS未測位状態】 | "ピピッ" | "ピピッ" ↓ "ピピッ ピピッ" |
| | 点　灯 【GPS測位状態】 | | 「GPSを測位しました。○月○日○曜日です。」 |
| 再度 電源スイッチを1回押す | 消　灯 | "ピピピピッ" | "ピピピピッ" |

### 3）オートパワーオフ機能を使用しない場合

オートパワーオフ機能をキャンセルしたい時にご使用ください。

※車両振動を検知して電源をOFFにする機能は働きませんので、本製品を使用しない時は電源スイッチで電源をお切りください。切り忘れるとバッテリーが上がる恐れがあります。
※電源をOFFにするとオートパワーオフ機能が働いている状態にもどります。オートパワーオフ機能を使用しない場合は再度電源スイッチをダブルクリックしてください。

①電源スイッチを2回続けて押します。（ダブルクリック）
②GPSランプが点滅し始めレーダー本体とレシーバーから"ピピッ ピピッ"と音が鳴ります。
③GPS衛星を受信するとGPSランプが点滅から点灯に変わり、レシーバーから「GPSを測位しました。○月○日○曜日です。」と音が鳴ります。
④電源スイッチもう一回押すと"ピピピピッ"と音が鳴り電源が切れます。

| 操　作 | GPSランプ | 音　声 | |
|---|---|---|---|
| | | レーダー本体 | レシーバー |
| 電源スイッチを続けて2回押す | 点　滅 【GPS未測位状態】 | "ピピッ　ピピッ" | "ピピッ ピピッ" ↓ "ピピッ ピピッ" |
| | 点　灯 【GPS測位状態】 | | 「GPSを測位しました。○月○日○曜日です。」 |
| 再度電源スイッチを1回押す | 消　灯 【GPS未測位状態】 | "ピピピピッ" | "ピピピピッ" |

## 2 レシーバー

### 1）レシーバーの使用方法

**任意でON/OFFする場合**

①スイッチをONにします。
（ピッと音がします。）
②使用しない時は電池の消耗を抑える為にスイッチをOFF にしてください。

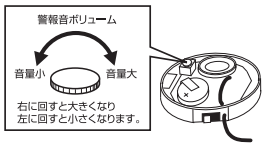
**オートモードで使用する場合**

センサーによりON/OFFの切り替えを行います。
レシーバーの微振動を検知してON状態となり、約30分程度静止状態が続くと自動的にOFFになる省エネモードです。
①スイッチをATにします。（ピッと音がします。）
※振動を関知出来なかった場合"ピピピピッ"と音がして電源が自動的にOFFになります。継続して使用する場合は再度振動を与え電源をONにしてください。ONになった時は"ピピッ"と音がして確認できます。

### 2）レシーバーの調整方法

**●受信感度について**
レシーバー本体の取り付け場所やレシーバーの取り付け方によって、受信感度が安定しない場合があります。その際はヘルメットからレシーバーのアンテナの先端を少し外に出すようにしてください。

**●音量の調整**
レシーバーの音量は内部のボリュームで調整します。

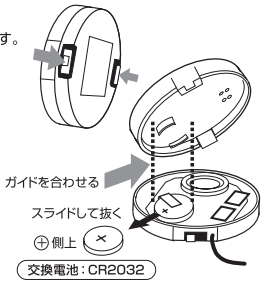



**電池の交換**

**電池交換の目安**
**◆レシーバーがONの状態で本体側のスイッチをONにした場合"ピッ"と音がしなくなった時。**
**◆レシーバーのみ"ピッピッピッピッ"という動作音が連続して鳴る時。**
**◆レシーバーからの音の途切れが多くなった時。**

①両側のつまみを手でつまんで、上ケースを取り出します。
②電池のみをスライドして取り出し、新しい電池と交換します。
（⊕と⊖を間違えないようにしてください。）

**⚠注意**
※音量ボリュームを最大にして使用すると電池の消耗が早くなり音声案内が途切れる場合があります。音声が確認できる範囲内で容量ボリュームは小さくしてご使用されることをお勧めいたします。
※音が聞こえにくくなりますのでスポンジなどでスピーカーの穴をふさがないでください。
※レシーバー内部から鳴る「カラカラ」音は、オートモードセンサーの構造上によるものです。ご了承ください。
※レシーバーに入っている電池はチェック用ですので、規定時間は使用できない場合があります。



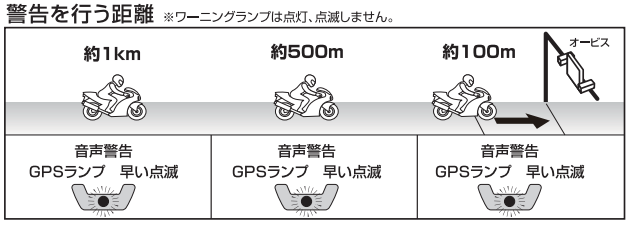

# 7. 警告について（GPS）

## 1 オービス警告

●オービスポイントに接近した場合、下記のように警告を行います。

**⚠注意**
※対向車線上のオービスへの警告は行いません。
※警告を行う距離は、対象とするオービスからの直線距離です。道路の高低差、カーブの大きさ等によって実際の走行距離と異なる場合があります。また、近くの平行する道路等を走行中の時も警告を行う場合があります。
※道路種別には「一般道路」と「高速道路」があります。カメラ位置は「正面」「右側」「左側」があります。
※GPS電波が受信できていない状態では、GPS警告ができません。
※GPS測位している場合であっても登録されてない場合は警告できない場合があります。あらかじめご了承ください。
※高架下等のGPS測位状態が悪い場所では、正しく機能しない場合があります。
※トンネル又はトンネルを出た所等にあるオービスがある場所は衛星受信が出来ず、警告が行えない場合がありますので、ご注意ください。

**警告を行う距離** ※ワーニングランプは点灯、点滅しません。




**オービス警告の内容一覧**

| オービス種類 | | 約1km手前 | 約500m手前 | 約100m |
|---|---|---|---|---|
| ループコイル | 音 声 | "ポーン"「1km先一般道路ループコイルがあります。注意してください。」 | "ポーン"「500m先一般道路ループコイルがあります。注意してください。」 | "ポーン"「カメラは正面です。」 |
| | GPSランプ | 早い点滅 | | |
| 新Hシステム | 音 声 | "ポーン"「1km先一般道路Hシステムがあります。注意してください。」 | "ポーン"「500m先一般道路Hシステムがあります。注意してください。」 | "ポーン"「カメラは正面です。」 |
| | GPSランプ | 早い点滅 | | |
| LHシステム | 音 声 | "ポーン"「1km先一般道路LHシステムがあります。注意してください。」 | "ポーン"「500m先一般道路LHシステムがあります。注意してください。」 | "ポーン"「カメラは正面です。」 |
| | GPSランプ | 早い点滅 | | |
| レーダー式オービス | 音 声 | "ポーン"「1km先一般道路レーダー式オービスがあります。注意してください。」 | "ポーン"「500m先一般道路レーダー式オービスがあります。注意してください。」 | "ポーン"「カメラは正面です。」 |
| | GPSランプ | 早い点滅 | | |
| 信号無視抑止システム | 音 声 | "ポーン"「1km先一般道路信号無視抑止システムがあります。注意してください。」 | "ポーン"「500m先一般道路信号無視抑止システムがあります。注意してください。」 | "ポーン"「カメラは正面です。注意してください。」 |
| | GPSランプ | 早い点滅 | | |
| 取締ポイント | 音 声 | "ポーン"「km先一般道路取締ポイントがあります。注意してください。」 | "ポーン"「500m先一般道路取締ポイントがあります。注意してください。」 | ――― |
| | GPSランプ | 早い点滅 | | |

## 2 N/NHシステム警告

**Nシステムとは？**
通過車両を一定のシャッタースピードで撮影し、写真画像の残像をコンピュータで解析し残像の度合いによって走行速度を割り出すシステムです。現在は車両識別用監視カメラとして稼働していますが、将来的には取締りに使用される可能性があります。

| | 約500m手前 |
|---|---|
| 音 声 | "ポーン"「この先一般道路Nシステムがあります。」 |
| GPSランプ | 早い点滅 |

**⚠注意** ※警報を行う距離は、対象となるNシステム/NHシステムからの直線距離です。道路の高低差、カーブの大きさ等によっては実際の走行距離と異なる場合があります。

## 3 警察署案内

本製品に登録されている警察署付近に接近するとお知らせします。

| | 約500m手前 |
|---|---|
| 音 声 | "ポーン"「左方向」「右方向」「一般道路警察署があります。」 |
| GPSランプ | 早い点滅 |

※進行道路上の警察署だけでなく近くの道路にある警察署も警告します。

## 4 サービスエリア・パーキングエリア案内

全国の高速道路にあるサービスエリア又はパーキングエリアの位置情報を予め本製品に登録してあり、サービスエリア又はパーキングエリアに接近（約1km手前）するとお知らせします。

| | | 約1km手前 |
|---|---|---|
| サービスエリア | 音 声 | "ポーン"「1km先高速道路サービスエリアがあります。」 |
| | GPSランプ | 早い点滅 |
| パーキングエリア | 音 声 | "ポーン"「1km先高速道路パーキングエリアがあります。」 |
| | GPSランプ | 早い点滅 |

# 8. 警告について（レーダー）

●レーダー式取締り機の発する電波を受信した場合、下記の様に警報を行います。
●音と光のダブルアラーム方式で分かりやすく警告します。
●取締りレーダー波発信源への接近に合わせて音と光が変化します。
●GPSランプは反応しません。

| | | |
|---|---|---|
| 通常のレーダー波受信の場合 | レーダー式取締機迄の距離 | 遠い ⟶ 近い |
| | レシーバー | "ピ" 5段階 "ピピピピピ" |
| | ワーニングランプ | 遅い点滅 ⟶ 早い点滅 |
| ステルス波受信の場合 | レシーバー | "ステルス波を受信しました ピピピピピピッ" |
| | ワーニングランプ | 早い点滅 |

**⚠注意**
※レーダー警告中の場合でもGPS警報を優先して行います。
※レーダー警告中に6バンド（カーロケ無線、デジタル無線、取締り用連絡無線（350.1MHz）、署轄系無線、ワイド無線、警察活動無線）を受信しても6バンド無線の警報は行いません。
※ステルス波はその性質上距離的余裕をもって警告する事ができません。ステルスアラームが鳴った時はすでに計測されている事がありますので、くれぐれも単独、先頭走行での速度の出し過ぎにはご注意ください。

# 9.警告について（6バンド）

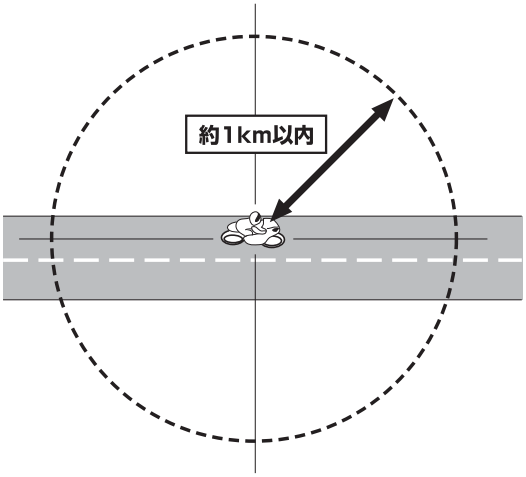
## 1 6バンド受信について

●本製品はカーロケーターシステム無線、デジタル無線、取締り用連絡無線（350,1MHz）、署轄系無線、WIDE（ワイド）無線、警察活動無線を受信することができます。
●ワーニングランプは反応しません。

**⚠注意** ※放送局や無線中継局の近くを通過する時、強い電波の影響により誤作動する場合があります。また、VHF帯の放送局の近くを通過する場合はデジタル無線の受信をする場合があります。

### 6バンド受信距離設定

| 受信種類 | 受信距離 |
|---|---|
| カーロケ／350.1／デジタル／署轄系／警察活動無線／W.I.D.E（ワイド） | 約1km以内 |

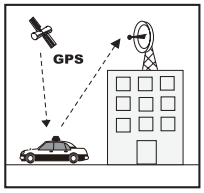



**⚠注意** ※受信感度（距離）は直線見通し距離で、間に障害物が無い状態での受信距離目安です。使用状況、走行状態、製品取り付け位置、周囲の環境（電波状況）によって受信感度（距離）が変わる場合があります。

## 2 カーロケ受信

**カーロケーターシステム とは?**

カーロケーターシステムとは「無線自動車動態表示システム」といい、緊急車両に装備されたGPS受信機より算出した位置データを無線で定期的（間欠）に各本部の車両管理センターへ送信するシステムです。本製品は緊急車両からの電波を受信し、音声で警告を行い緊急車両の走行を妨げないように安全な回避を即します。




**⚠注意**

※一部地域又は一部緊急車両には、カーロケーターシステムが装備されていない為、本製品では受信できない事があります。
※カーロケーターシステムは間欠で送信される為、実際の緊急車両の接近と受信タイミングにズレが生じる事があります。
※緊急車両は走行状態（緊急走行、通常走行、駐停車）によって、電波の送信時間が変化する為、実際の緊急車両の接近と受信タイミングにズレが生じる事があります。
※緊急車両がエンジン停止時は電波の送信を行わない事がある為、本製品での受信は出来ない場合があります。
※送信電波の中継局、受信本部付近では緊急車両の接近に関わらず受信する事があります。
※本製品が受信するカーロケーターシステムは、白バイ、救急車、消防自動車等には現在導入されておりません。

### カーロケ受信電波の状況によって遠近識別警告を行います。

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 発信源との距離 | | | | 一度カーロケ電波を受信して、弱いカーロケ電波を受信した場合 |
| 受信状況 | 弱いカーロケ電波を受信した時 | 中くらいのカーロケ電波を受信した時 | 強いカーロケ電波を受信した時 | |
| 音声 | ”ポーン” 「1km以内 カーロケ無線を受信しました。」 | ”ポーン” 「500m以内 カーロケ無線を受信しました。」 | ”ポーン” 「カーロケ接近中 注意してください。」 | ”ポーン” 「カーロケ 遠ざかりました。」 |
| GPSランプ | 早い点滅 | | | |

## 3 取締り用連絡無線（350,1MHz）

**取締り用連絡無線（350,1MHz）とは?**

取締り用連絡無線（350,1MHz）とは取締り用連絡無線で使用する周波数帯で、速度違反取締り等で使用する事があります。また、通話内容をコード化したデジタル無線方式を使用するケースもあり、音声受信できません。

### 350.1MHzの電波を受信すると・・・・

| 音声内容 | GPSランプ |
|---|---|
| ”ポーン” 「350,1メガ 受信しました。注意してください。」 | 早い点滅 |

## 4 署轄系無線受信

**署轄系無線とは?**

署轄系無線とは、パトロール中の警察官が警察本部や他の警察官との連絡用として使用している無線交信で134chの電波を受信します。

| 音声内容 | GPSランプ |
|---|---|
| ”ポーン” 「署轄系無線を受信しました。注意してください。」 | 早い点滅 |

## 5 デジタル無線受信

**デジタル無線とは?**

デジタル無線とは、各警察本部と移動局（緊急車両等）とが行う無線交信で、159MHz帯～160MHz帯で約53chの電波を受信します。通話内容がコード化（デジタル化）されており通話内容を聞く事はできませんが、音声とランプで警報を行い付近を走行する緊急車両の走行を妨げないよう安全な回避を促します。

| 音声内容 | GPSランプ |
|---|---|
| ”ポーン” 「デジタル無線を受信しました。注意してください。」 | 早い点滅 |

## 6 WIDE（ワイド）無線受信

**WIDE（ワイド）無線とは?**

WIDE（ワイド）無線とは、Wireless Integrated Digital Equipmentの略称。336～338MHz帯を使用している警察専用の自動車携帯電話システムのこと。移動警察電話（移動警電）とも言います。

| 音声内容 | GPSランプ |
|---|---|
| ”ポーン” 「ワイド無線を受信しました。注意してください。」 | 早い点滅 |

## 7 警察活動無線受信

**警察活動無線とは?**

警察活動無線とは、主に162MHz帯を使用している機動隊が災害活動や行事に使用する無線です。

| 音声内容 | GPSランプ |
|---|---|
| ”ポーン” 「警察活動無線受信しました。注意してください。」 | 早い点滅 |

# 10. その他の機能

## 1 AAC（オートアラームカット）機能

GPS機能を使用して算出した自車の走行速度が40km/hの場合、AAC機能が作動して警告音をカットします。

※AAC機能はGPS測位時のみ機能します。

| 時 速 | 40km以下 | | 40km以上 | |
|---|---|---|---|---|
| | レーダー本体 | レシーバー | レーダー本体 | レシーバー |
| レーダー波 | ワーニング ランプ点滅 | カットされます | 警告音 | 警告音 |
| GPSポイント | GPS ランプ点滅 | 音声警告 | 音声警告 | 音声警告 |
| 6バンド無線 | GPS ランプ点滅 | 音声警告 | 音声警告 | 音声警告 |

## 2 ATD（オートトーンダウン）機能

レーダー波やステルス波を受信し続けると、約15秒後に警告音を自動でボリュームダウンします。

※音声出力端子からの音は、この機能は働きません。

## 3 時 報 機 能

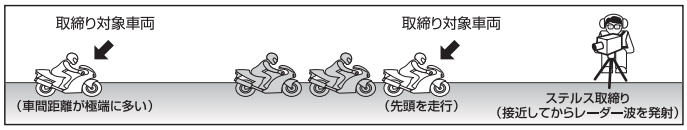
毎正時ごとに”○時になりました”と音声案内します。

※時報機能はGPS測位時のみ機能します。

# 11. 取締りの種類と方法

## ステルス式取締り方法（有人式取締り）

取締り対象の車両が取締り機の近くに接近してから、レーダー波を発射する狙い撃ち的な取締り方法です。走行車両の先頭や、前方走行車との車間距離が極端に長い場合等に測定されるケースが多く、100m以下の至近距離でレーダー波を受信する場合もあり、注意が必要です。




## レーダー式取締り方法（有人式取締り/オービス式取締り）

レーダー波を常時発射し、通過する車両の速度を測定します。また、オービス式の場合は違反車両を自動的に写真撮影します。多くの取締り現場に採用しており、レーダー波も500m以上の距離から受信する事ができます。また、オービス式であれば本製品に位置データが登録してある場合、最長約1kmより警報を行います。

## 新Hシステム式取締り方法（オービス式取締り）

レーダー波を間欠発射し、通過する車両の速度を測定し違反車両の写真撮影を自動で行い警察本部の大型コンピュータへ専用回線で転送されます。レーダー波も500m前後で受信します。また、本製品に位置データが登録してある場合、最長約1kmより警報を行います。

## 移動オービス式/パトカー車載式

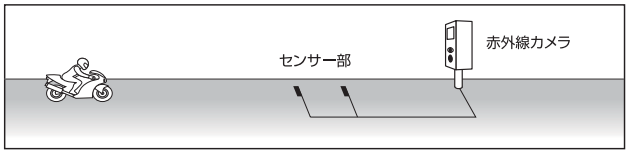
ワンボックス車の後部にレーダー式オービスを搭載し違反車両を取締る移動オービスとパトカーの赤色灯を改良して取締り機を搭載したパトカー車載式があります。

| ⚠注意 | 移動オービスで、本製品で探知できない光電管式もあります。 |
|---|---|

### 代表的なレーダー式以外の取締りの説明

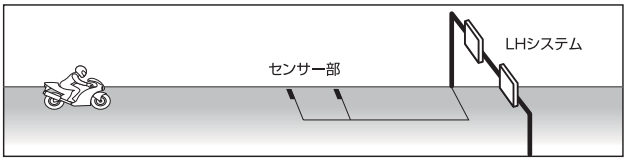
## ループコイル式取締り方法（オービス式取締り）

測定区間の初めと終わりに磁気スイッチ（金属センサー）を路面下等に埋め込み、通過時間から速度を算出し、違反車両の写真を撮影します。本製品に位置データが登録してある場合、最長約1kmより警報を行います。



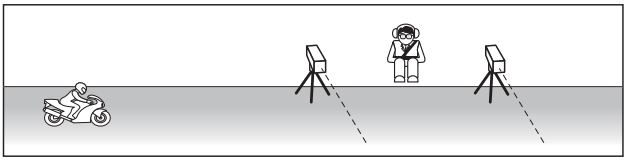

## LHシステム式取締り方法（オービス式取締り）

速度計測部がループコイル方式で違反車両の写真撮影はHシステム方式の取締り機です。従来のレーダー探知機では警報ができませんでしたが、本製品では位置データが登録してある場合、最長約1kmより警報を行います。




## 光電管式取締り方法（有人式取締り）

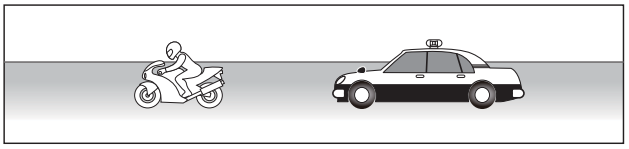
2点間に置かれたセンサーの通過時間から速度を算出し、違反車両を特定します。
※この取締りに対して警告する事ができません。予めご了承ください。



### 代表的なレーダー式以外取締りの説明

## 追尾式取締り方法

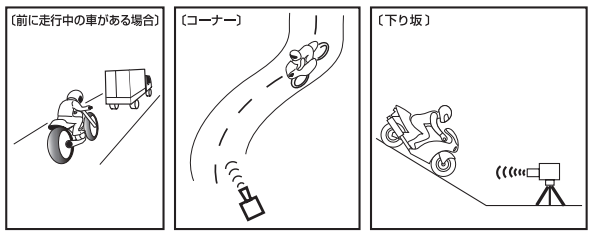
パトカー、覆面パトカー、白バイ等が一定の車両間隔を保った状態で後方を追尾し走行速度を測定し、記録します。
※この取締りに対して警告する事ができません。予めご了承下さい。



### 取締りレー

**電波の発射方法や周囲の環境・条件などにより、電波を受信しにくいことがあります。**

- 前を走行している車（特に大型車）がある場合、コーナー、坂道等では、電波が遮断され、探知距離が短くなる場合があります。スピードの出やすい下り坂では特に注意してください。
- 対象の車が近くに来るまで、電波を発射しない狙い撃ち的な取締りが出来るステルス型のスピード測定装置があります。
- 電波式の自動ドアや、信号機の近くに設置されている車両通過計測器等は、取締りレーダー波と同じ電波を使用している為、反応するのは避けられません。いつも鳴っているから大丈夫と安心せず、注意して運転をしてください。



# 12. 製品仕様

### レーダー本体

■電源電圧　DC12V専用
■サイズ　約62×90×30mm（コード除く）
■消費電流　約70mA
■充電時間　約8時間
■連続動作時間　約7時間～8時間程度
（※使用状況により異なります。）
■作動温度範囲　−10 ～ +60℃
■充電時最大電流　約160mA
■充電用コードヒューズ　1A

〈 GPS部 〉
■受信方式　12chパラレル方式
■受信周波数　1.5GHz帯
■測位更新時間　最短1秒

〈 レーダー受信部 〉
■受信方式　ダブルスーパーヘテロダイン
■受信周波数　Xバンド、10.525GHz

〈 6バンド無線受信部 〉
■受信周波数
［カーロケ］　407MHz帯
［取締り用連絡無線］　350.1MHz
［署活系無線］　347MHz～362MHz帯
［デジタル無線］　159MHz～160MHz帯
［WIDE無線］　336MHz～338MHz帯
［警察活動無線］　162MHz帯

### レシーバー

■使用電池　CR2032
■消費電流　最大0.4mA
■連続使用時間　約100時間程度（ATモード未使用時/未警報の場合）※使用状況により異なります。
■レシーバーサイズ　Φ50×12mm
■使用範囲　レーダー本体より1～2m程度

# 13. 補修パーツのご紹介

| 部品番号 | 名　称 | 価格（税込み） | 数　量 |
|---|---|---|---|
| MP-129 | アンテナベース | ¥　210 | 1ヶ |
| MP-190 | レシーバー | ¥ 8,925 | 1ヶ |
| MP-191 | AC100V用充電器 | ¥ 3,675 | 1ヶ |
| MP-192 | DC12V用充電コード | ¥ 1,575 | 1ヶ |
| MP-193 | 内蔵バッテリー（お預かりして交換） | ¥ 4,200 | 1ヶ |
| MP-194 | カウルステーセット | ¥　840 | 1セット |
| MP-195 | デュアルロックセット（デュアルロック〈粗〉×2／デュアルロック〈細〉×2） | ¥　787 | 1セット |

**●登録データ最新バージョンへの書き換え（税込¥5,200）**
GPSポイントの登録データのバージョンアップ（書き換え）については弊社にお問い合わせ下さい。

# 14. 故障かなと思ったら・・・

### レーダー本体について

| 症　状 | 要　因 | 対　策 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| 電源が入らない。 | ○内蔵バッテリーが消耗していませんか? | ●充電を行ってください。 | 6～7 |
| 充電しても動作時間が短い | ○内蔵バッテリーの寿命ではありませんか? | ●内蔵バッテリーを交換してください。 | 29 |
| 電源が切れてしまう。 | ○オートパワーオフ機能が働いていませんか? | ●オートパワーオフ機能をOFFにしてご使用ください。 | 16 |
| オートパワーオフ機能で電源が切れない。 | ○振動や騒音の激しい場所に駐車していませんか? | ●振動や騒音の少ない場所に停車してください。<br>●電源スイッチで電源を切ってください。 | |
| 充電ができない。 | ○充電端子に正しく電源コードが接続されていますか? | ●奥までしっかりと差し込んでください。 | 6～7 |
| | ○AC100V用充電器が壊れている可能性があります。 | ●ご相談ください。 | |
| | ○DC12V用充電コードのバッテリー端子が切れていませんか? | ●ご相談ください。 | |
| | ○DC12V用充電コードのヒューズが切れていませんか? | ●ヒューズを交換してください。 | 8 |
| 充電に時間がかかる（8時間以上） | ○スイッチをONにして充電もしくは電源コードを接続していませんか? | ●スイッチをOFFにして充電器もしくは電源コードを接続してください。8hタイマーがスタートします。 | 6～7 |
| GPS衛生受信をしない。（測位しない） | ○本体の周辺にGPS電波を遮断する物がありませんか? | ●取付位置を変更してください。 | 9～13 |
| | ○ビルの谷間や高架線などGPSを受信しにくい場所ではありませんか? | ●GPSを受信し易い場所へ移動してください。 | |
| 取締機があるのに警告をしない。 | ○本体の周辺にGPS電波を遮断する物がありませんか? | ●取付位置を変更してください。 | |
| | ○ビルの谷間や高架線などGPSを受信しにくい場所ではありませんか? | ———— | |
| | ○速度違反の取締機ではない場合があります。 | ———— | |
| | ○新しく設置されたオービスの可能性があります。 | ●データ更新サービスをご利用ください。 | 29 |
| 道路に警察署が無いのに警報する。 | ○同一道路上の警察署だけでなく近くの道路にある警察署を警告します。 | ———— | 19 |
| 近くにパトカーがいてもカーロケ受信を警告しない。 | ○対象はカーロケーターシステム搭載の緊急車両でない場合があります。 | ●一部地域または、一部緊急車両にはカーロケーターシステムが装着されていない為、受信しない場合があります。 | 22 |
| | ○受信タイミングがズレている | ●カーロケ波間欠で送信されるため受信タイミングがズレることがあります。 | |

### レシーバーについて

| 症　状 | 要　因 | 対　策 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| 電源を入れないと、"ピピピピピ"と断続音が止まらない。 | ○電池は消耗していませんか? | ●電池を交換してください。 | 17 |
| レシーバーを動かすと「カラカラ」と金属音がする。 | ○振動センサーの作動音です。 | | |
| レシーバーの音が小さい。 | ○レシーバーのボリュームが小さくなっていませんか? | ●ボリュームを上げてください。 | |
| | ○スピーカー部と耳の穴の位置がズレていませんか? | ●レシーバーの位置を調整してください。 | 14･17 |
| | ○レシーバーと耳の距離が離れていませんか? | ●レシーバーの位置を調整してください。（MR-E6を注文） | 14･16 |
| 本体のランプは点滅しているがレシーバーから音が出ない。 | ○本体からレシーバーまでの間に大きな金属物がある。 | ●本体の取付位置を変えてみる。 | 9～13 |
| | ○アンテナ線を巻き込んでいませんか? | ●アンテナ線を外に出してください。 | 17 |
| | ○電池は消耗していませんか? | ●電池を交換してください。 | |
| | ○ATモードで電源が切れていませんか? | ●振動を与えるか、電源をONにしてください。 | |

# 15. 本品に関するご連絡・ご相談先


TANAX タナックス株式会社
TEL:04-7150-2450（月～金　9:00～18:00）
〒270-0151　千葉県流山市後平井 107-3
http://www.tanax.co.jp